

流体総 第 10 号
平成 29 年 10 月 11 日

各 位

東北大学流体科学研究所長
大 林 茂
「公印省略」

流体科学研究所教員公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究所では、下記の要領により教員を公募することになりました。

つきましては、貴学及び関係機関等に適任の方がおられましたら、ご推薦賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 専門分野及び公募人員

所属研究部門	研究分野	公募人員
複雑流動研究部門	流動システム評価研究分野	助教 女性 1 名

2. 研究・業務内容

次世代輸送システムおよびエネルギーシステムの高信頼化に関わるセンサと評価・予測技術の研究に取り組むとともに、構造物健全性監視への知的センシングの応用に関する研究・教育を推進する。

3. 応募資格

着任時に博士の学位を有し、上記の専門分野で顕著な業績を有する女性。

なお、「男女雇用機会均等法」第 8 条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として女性に限定した公募を実施するものである。東北大学は、男女共同参画を積極的に推進している。子育て支援の詳細等、男女共同参画の取り組みについては下記 URL を参照のこと。

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/>

4. 任用予定年月日 平成 30 年 4 月 1 日（日）
（東北大学教員の任期に関する規程第 2 条に従い、任期は 8 年、再任の場合は 2 年とし、1 回を限度とする。）

5. 公募締切日 平成 29 年 12 月 27 日（水）必着

6. 応募書類

（Ⅰ）履歴書

（Ⅱ）業績リスト※

- ① 学術論文（掲載誌の最新のインパクトファクターも記すこと。）
- ② 解説論文（同上）
- ③ フルペーパーで査読を受けたプロシーディングス論文
- ④ 著書
- ⑤ 国際会議・国内会議における招待講演（本人が講演したもののみ）
- ⑥ 国際会議での発表状況（⑤に該当するものを除く。発表者を明確にすること。）
- ⑦ 国際会議あるいは国内会議における実績（組織委員・実行委員等）
- ⑧ 特許取得状況（出願あるいは登録の別も記すこと。）
- ⑨ 海外および国内の研究者との共同研究実績
- ⑩ 受賞
- ⑪ 競争的研究資金の獲得状況
- ⑫ その他特筆すべき業績

※ 作成に当たってはそれぞれ別葉とし、①から⑥については共著者名を、⑧については共同発明者を全て記入し、応募者にはアンダーラインを付すこと。
また、①から⑧については応募者の分担した役割を明記すること。①から⑥についてはサイテーション数を適宜記すこと。その際、サイテーション数の出典を明記すること。

（Ⅲ）上記①から④の主要な業績 5 件の別刷（コピーでも可）

（Ⅳ）主要業績 5 件以内の概要（各 500 字程度）

（Ⅴ）当該研究部門に着任した場合の研究・教育に関する抱負

（Ⅵ）応募者に関する問い合わせ先の氏名、勤務先、役職、住所、電話番号、
E-mail アドレス（3 名程度。日本人に限定しない。）

上記書類は、すべて A4 版横書きとし、それぞれ別葉とすること。

選考の過程で、追加資料の提出を求められることがある。応募書類は返却しない。

7. 応募の問い合わせ先

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1 番 1 号
東北大学流体科学研究所
教授 内一 哲哉
TEL/FAX 022-217-5262
E-mail uchimoto@ifs.tohoku.ac.jp

8. 応募書類の提出先

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1 番 1 号

東北大学流体科学研究所

所長 大林 茂

TEL 022-217-5300 FAX 022-217-5311

E-mail director@ifs.tohoku.ac.jp

なお、流体科学研究所の概要については、<http://www.ifs.tohoku.ac.jp/> をご覧下さい。

本研究所は、文部科学省 科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）「杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業(H28～H33)」に基づく、女性研究者の採用と上位職への積極的登用に向けた取組の支援を受けています。

参 考 事 項

本研究部門では、流体科学の基盤となる、幅広い時空間スケールの多様な物理・化学過程が関わる複雑な流動現象の解明とその応用に関する研究を行うことを目的とする。燃焼反応流、複雑系熱・物質移動、キャビテーション、衝撃波などの熱と物質流動現象の普遍原理の解明および数理モデル構築を通じ、学術の発展ならびに革新的技術の創成を推進する。また、東北大学大学院機械系、工学部機械知能・航空工学科の協力講座として、教員は機械工学関連科目の講義を担当している。

本教員公募により、次のような研究の推進を計画している。

研究部門名 (研究分野名)	研究内容
複雑流動研究部門* (流動システム評価研究分野)	<p>次世代輸送システムおよびエネルギーシステムの高信頼化に関わるセンサと評価・予測技術の研究、ならびに構造物健全性監視への知的センシングの応用に関する研究。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 実験および数値シミュレーションを用いた先進的非破壊評価法に関する研究2. 高温環境センサの研究3. オンラインモニタリングによる劣化損傷の推定4. 多様なセンサの融合による高精度センシング

* 高速反応流研究分野、伝熱制御研究分野、先進流体機械システム研究分野、複雑衝撃波研究分野、計算流体物理研究分野、流動システム評価研究分野の6分野から構成される。